

From Physical to Digital: Insight-Driven Service Creation

リアルからデジタルへ:インサイトに基づくサービスづくり

Marc Ken Ishikawa I Sun* Inc.



株式会社Sun Asterisk

Marc Ken Ishikawa / 石川マーク健

Division Manager / UX Designer / Architect

ロンドン大学Bartlett校で建築学修士課程を修了。

イギリス・シンガポール・日本での建築実務経験を経る。

デザインコンサルティング会社IDEO(本社アメリカ・カリフォルニア州)の日本支社・IDEO Tokyoの契約デザイナーとして、アジア地域におけるプロジェクトに数多く関わる。

Sun*では、デザインシンキング、UX デザインを使って新企業コンセプト開発、 プロダクトコンセプト、サービスデザイン、空間デザインなどのプロジェクトに 関わっている。



Vision

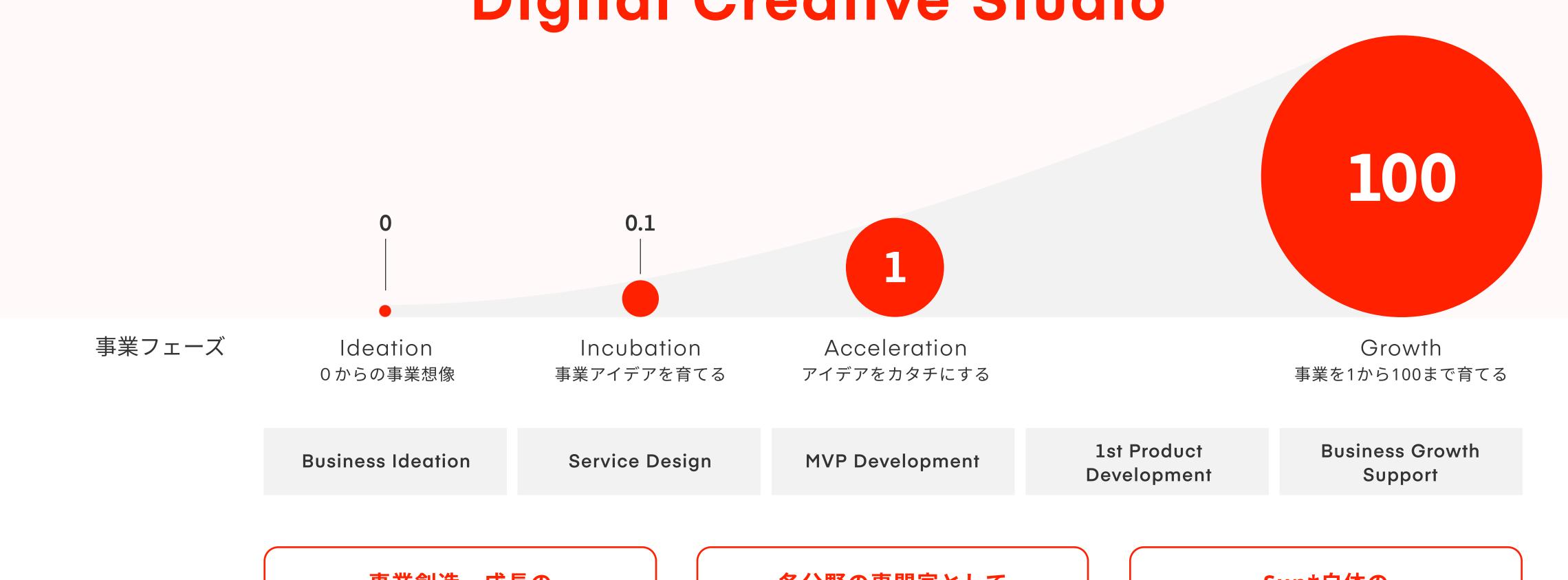
誰もが価値創造に 夢中になれる世界

Create a world where everyone has the freedom to make awesome things that matter.

What We Do



Digital Creative Studio



事業創造・成長の パートナーとして伴走する 各分野の専門家として 課題を解決する

Sun*自体の 事業成長にコミットする

僕が歩んできた道

Sun*

From Physical to Digital



デザインに出会う

高校で デザインコミュニケーションの 授業を受ける



大学で尊敬すべき 先生に出会う

University of North Londonに 入学する



大学院に進学

Bartlett, University College London Post Graduate Diploma Architectureを 卒業する



イギリスで建築家になる!

建築事務所でインターンとして働く







建築の大変さを知る

Kay Kngee Tan Architect (UK) CWJ Architects (UK) Suppose Design Office (JP) に勤務する

僕が歩んできた道

From Physical to Digital







デザイン思考に出会う

IDEO Tokyo / Singapore / Shanghai とのプロジェクトに従事する









自分の事業を始める

1人体制でコンペに挑む 人が求めてる体験をベースに空間をデザインする



ハードの中の体験にはソフトが必要で ソフトにはデジタルが必要





Sun* 入社

UXデザイン サービスデザイン 空間設計

など多岐に渡って活躍中

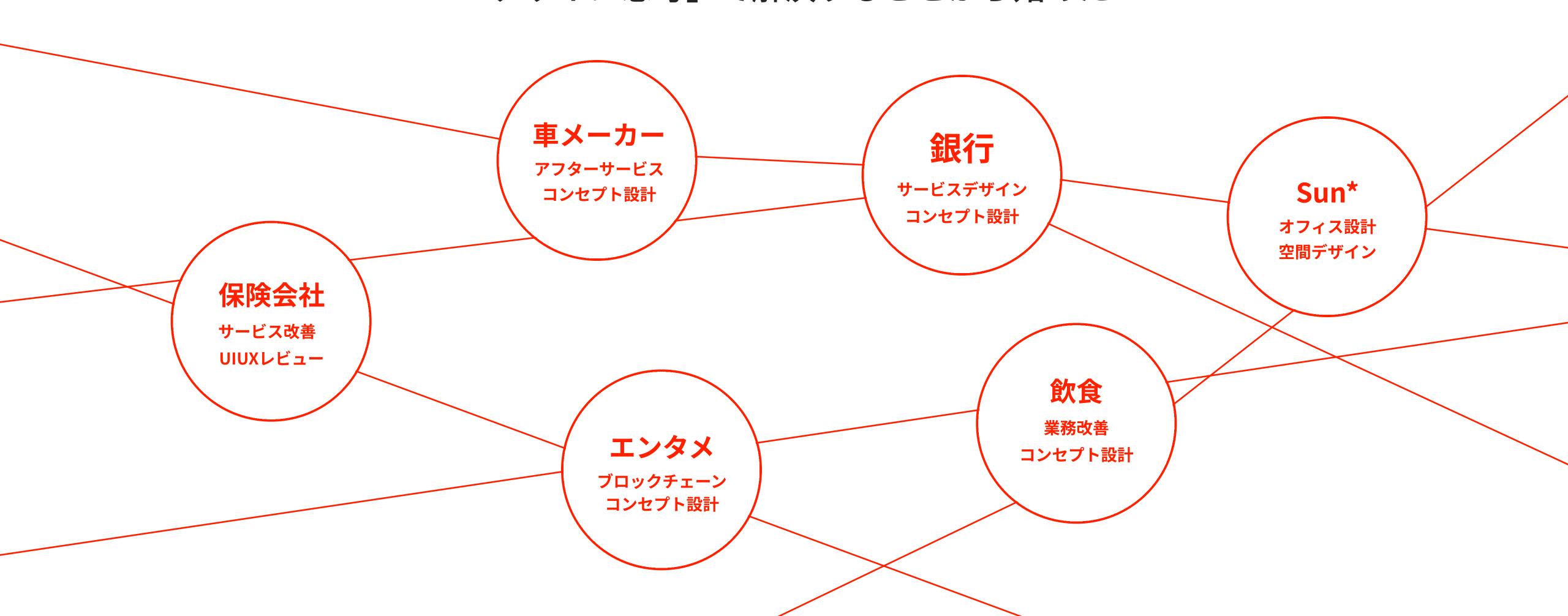






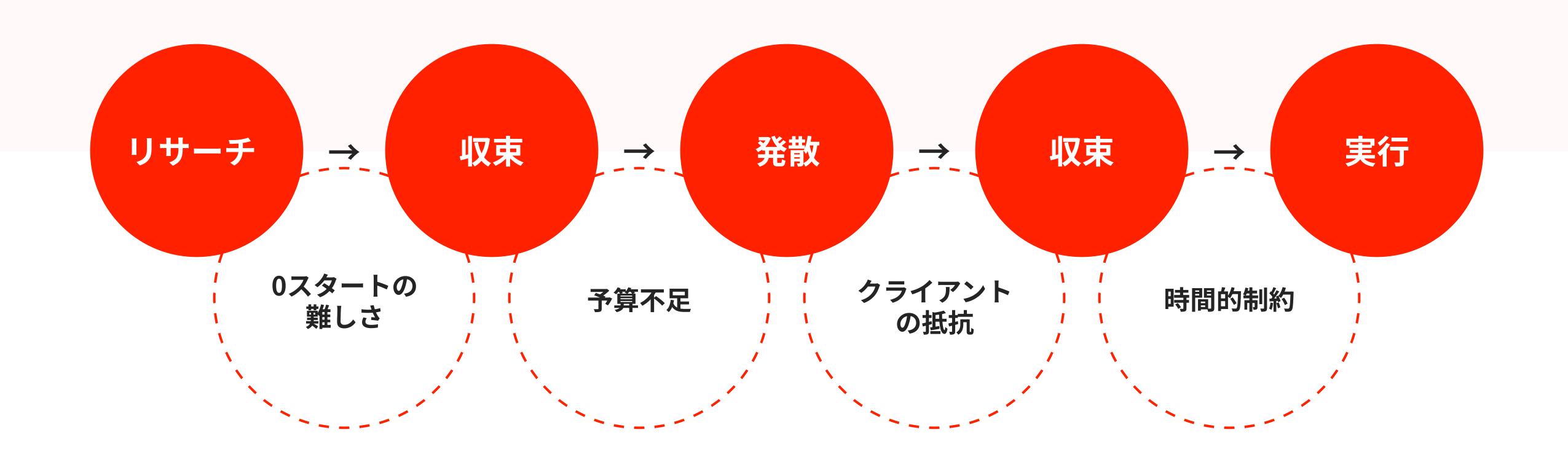
Sun*には多種多様なプロジェクトがある

あらゆるドメインとフェーズがあり、すべてがユニークなプロジェクト 「デザイン思考」で解決することから始めた



Sun*

現実的な制約と向き合う中で デザイン思考のプロセスを保つことに限界を感じた





デザイン思考やUXデザインなど プロセスをカスタマイズして試行錯誤する中で生まれた疑問

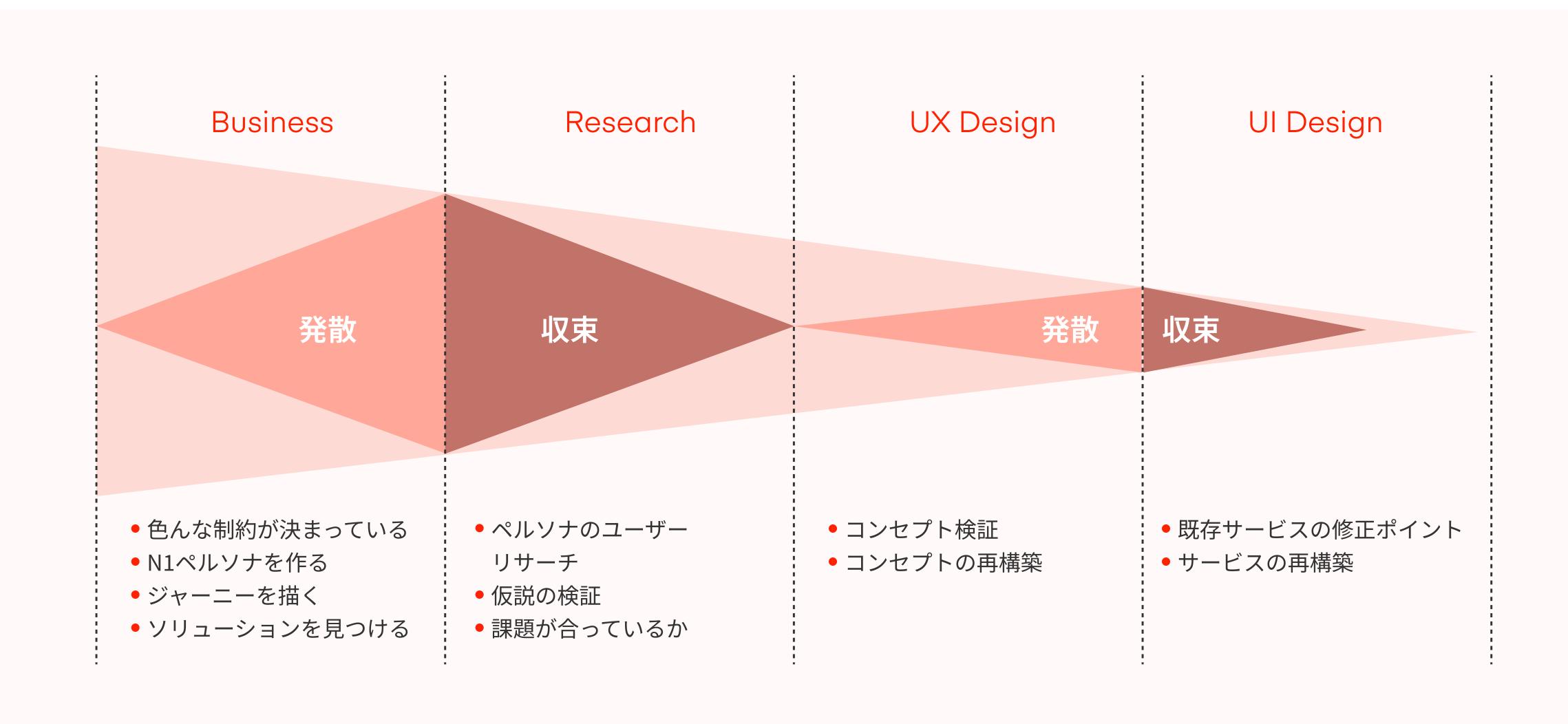


なぜ、サービスを創造せず 同じようなサービスばかり想像するのか?

Why, without creating services, do people only imagine similar services?

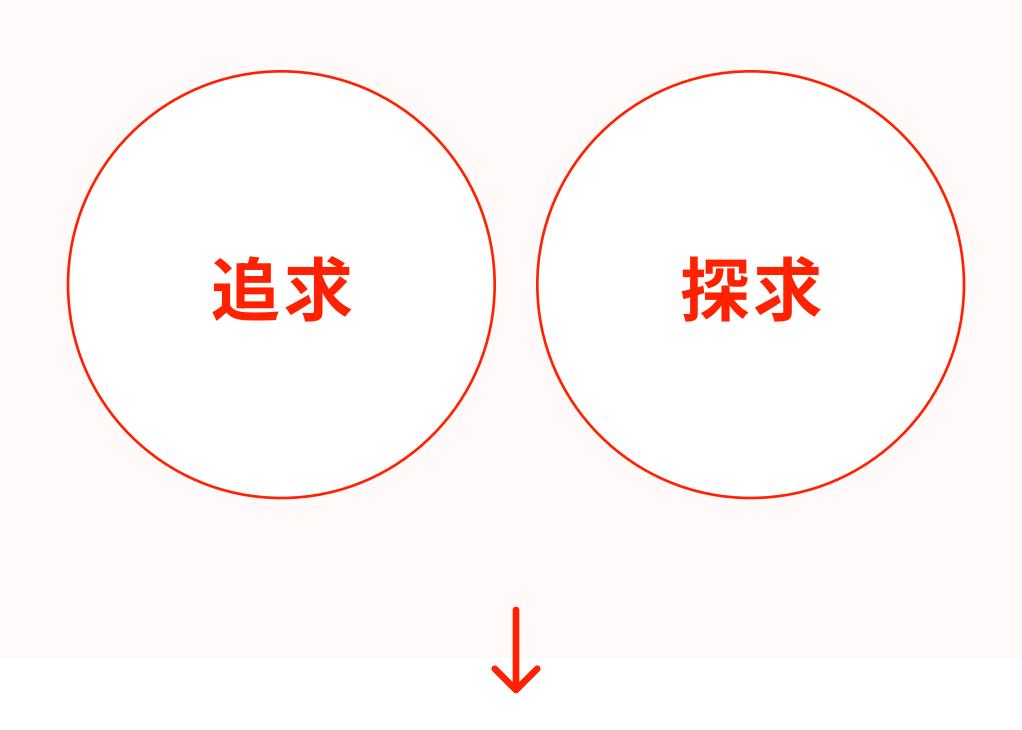


UXデザインのアプローチが 同じようなサービスを作り出すのか?



Sun*

大学の時の体験で大事だと感じた



ペインポイント ≠ インサイト

ではインサイトとは何か?







01 サービスを制限する情報





02 方向性を明確にする情報



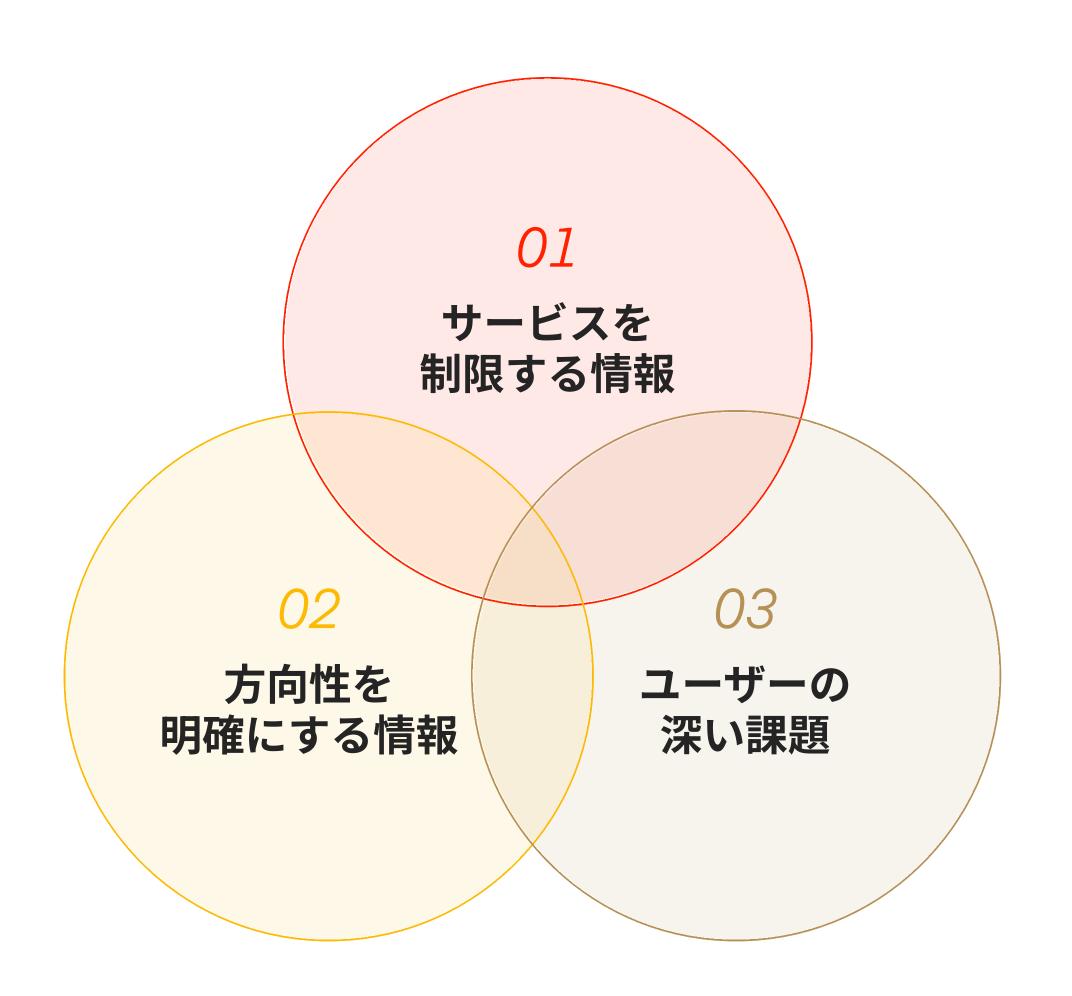


03 ユーザーの潜在的課題



インサイトとは?

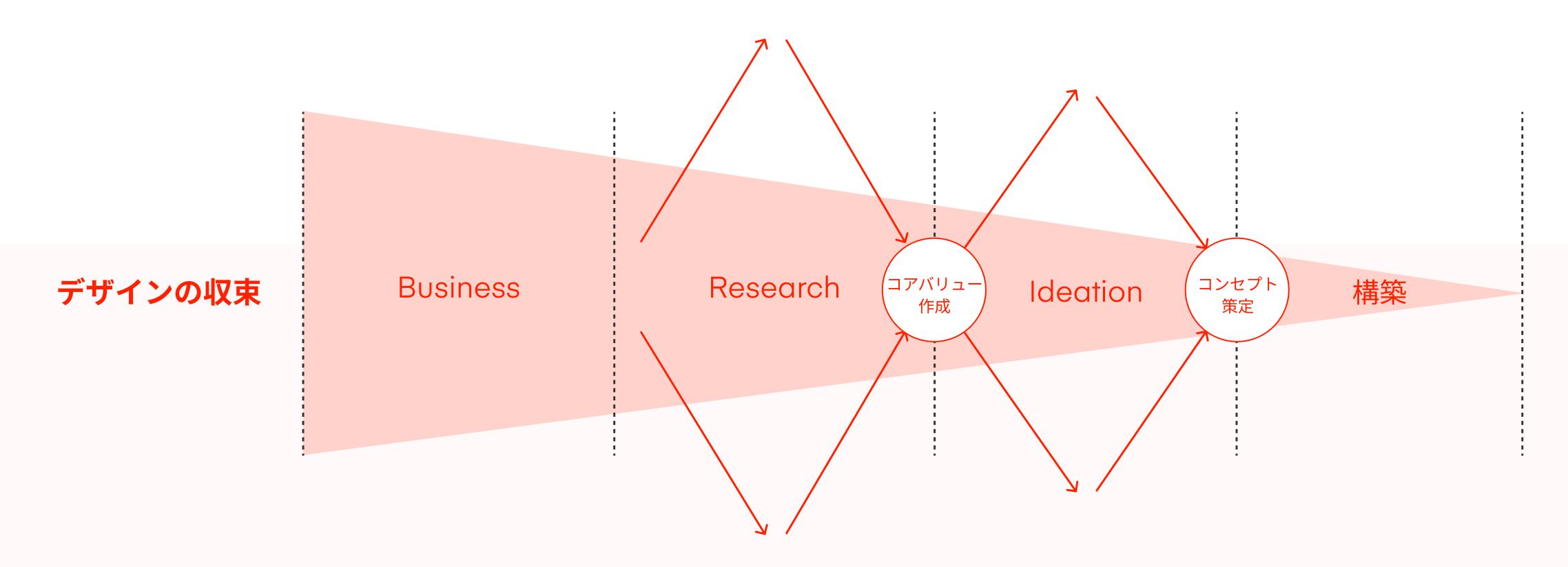




リサーチ、アイディエーションなど 各デザインプロセスにおいて 3つの要素を含んだインサイトを軸に 発散と収束を繰り返すことが重要!



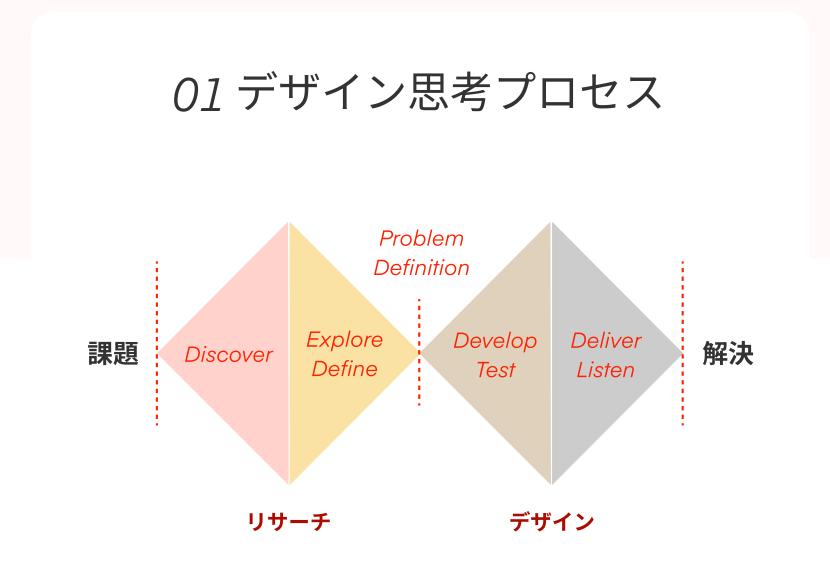
追求と探索を実現するアプローチ

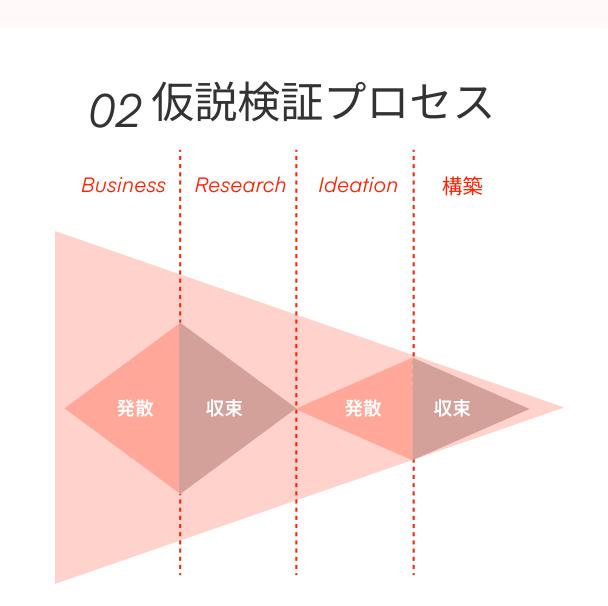


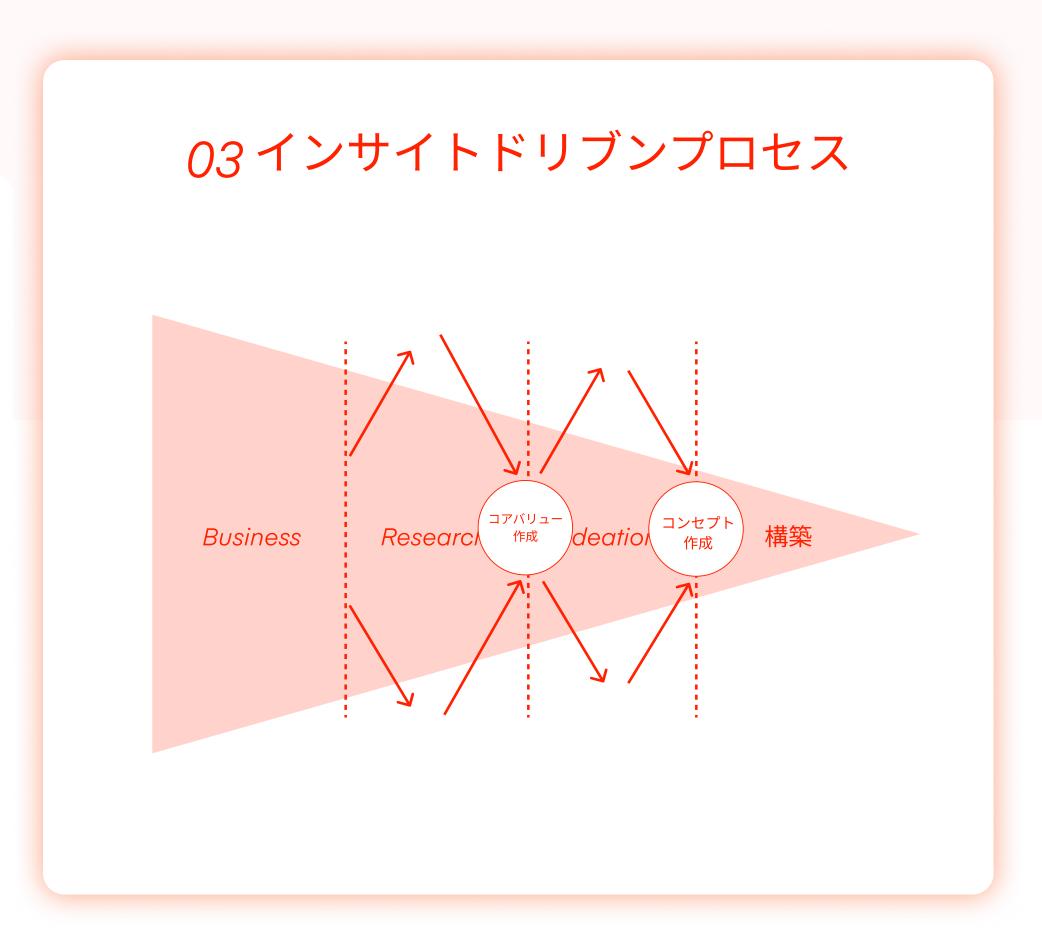
仮説設定・インサイト作成 → コアバリュー作成→ 発散 → コンセプト作成→サービス構築

各プロセスの比較









Sun*

インサイトドリブンプロセス II

ユーザーへの**提供価値**とビジネスの**成長性**の 両方を**最大化**するプロセス



不確実性を恐れず、アイデアの探索を忘れず、 目の前の情報を俯瞰して見ながら 本質を追求していくことが価値創造に繋がる!

Embrace uncertainty, explore ideas, see the bigger picture, and pursue the essence—that's how we create value!



Make awesome things that matter.

Sun*